

平成21年6月期 第2四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社 デジタルガレージ
 コード番号 4819 URL <http://www.garage.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 林 郁
 (氏名) 櫻井 光太
 配当支払開始予定日

TEL 03-5465-7747
 平成21年3月16日

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第2四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年6月期第2四半期 | 18,051 | △5.5 | 691 | — | 563 | — | △1,255 | — |
| 20年6月期第2四半期 | 19,093 | 151.2 | △181 | — | △287 | — | △884 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年6月期第2四半期 | △7,447.07 | — |
| 20年6月期第2四半期 | △5,568.96 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|---|-----------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 21年6月期第2四半期 | 41,109 | — | 9,121 | — | 13.1 | — | 29,267.72 | — |
| 20年6月期 | 40,057 | — | 9,716 | — | 12.0 | — | 30,066.49 | — |

(参考) 自己資本 21年6月期第2四半期 5,402百万円 20年6月期 4,791百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|----------|--------|------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 21年6月期 | — | 5,000.00 | — | — | — |
| 21年6月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 5,000.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無
 配当金の内訳 記念配当 5,000円00銭

21年6月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は2ページ「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|---|-------|---|-------|---|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 通期 | 42,350 | 7.0 | 3,950 | — | 3,660 | — | 500 | — | 2,831.95 | — |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社(社名) 除外 3社(社名 (株)イーコンテクト・(株)ディージー・アンド・ア イベックス・(株)DGソリューションズ)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年6月期第2四半期 | 185,886株 | 20年6月期 | 159,358株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年6月期第2四半期 | 1,284株 | 20年6月期 | 10株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年6月期第2四半期 | 168,642株 | 20年6月期第2四半期 | 158,808株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。なお、1株当たり当期純利益は、予想期中平均株式数により算出しております。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。又、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成21年6月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

| 基準日 | 第2四半期末 |
|----------|-----------|
| 1株当たり配当金 | 5,000円00銭 |
| 配当金総額 | 923百万円 |

(注) 純資産減少割合 0.132

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更しており、以下は変更後のセグメントにより記載しております。変更の内容につきましては、「5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」に記載のとおりであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安による株価下落、原油価格の高騰による企業収益や個人消費の低迷等により、景気は一段と悪化し、また今後の先行きについても一層の深刻化が懸念される状況となっております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成20年9月末時点でブロードバンド契約数が2,900万を超えるなど、若干鈍化傾向にあるものの継続的な拡大基調にあります。

このような状況の下、連結子会社㈱DGコミュニケーションズ(平成20年11月1日より㈱創芸より社名変更)が不動産不況の影響で減収となったため、当社グループの連結売上高は18,051百万円(対前年同期比1,041百万円減、同5.5%減)となりましたが、同㈱カカコムの業績の更なる向上に加え、前連結会計年度に行った赤字子会社の整理等の効果もあり、営業利益は691百万円(前年同期は営業損失181百万円)、経常利益は563百万円(前年同期は経常損失287百万円)と黒字転換致しました。しかしながら、保有する投資有価証券のうち時価等が著しく下落したものに係る投資有価証券評価損389百万円や、決済事業におけるネットワーク機器の障害対応費53百万円等を特別損失に計上したことなどにより、四半期純損失は1,255百万円(前年同期は四半期純損失884百万円)となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。従いまして、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書と前中間連結会計期間の中間連結損益計算書とでは、作成基準が異なるため前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりです。

[ソリューション事業]

ソリューション事業におきましては、不動産広告を中心とした広告代理店である連結子会社㈱DGコミュニケーションズについては、昨今の不動産不況の中、一段と厳しい外部環境が続きました。同じく、クロスメディアでのプロモーションを展開するディージー・アンド・アイベックスカンパニー(旧 ㈱ディージー・アンド・アイベックス)につきましても、企業収益の悪化を背景とした企業の広告費支出の削減等により、同様に厳しい外部環境が続きました。また、決済・物流サービスを行うイーコンテクトカンパニー(旧 ㈱イーコンテクト)におきましても、決済件数は継続的に増加しているものの、統合による一時的な費用を計上致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,453百万円にとどまり、営業損失は33百万円となりました。

[ポータル/ブログ事業]

ポータル/ブログ事業におきましては、連結子会社㈱カカコムにおいて、購買支援サイト『価格.com』のみならず、レストランのクチコミサイト『食べログ.com』、旅行のクチコミサイト『フォートラベル』等、複数のサイトが月間利用者及びページビュー数を伸ばし、引き続きセグメントの業績を牽引致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,468百万円、営業利益は1,447百万円となりました。

[インキュベーション事業]

インキュベーション事業におきましては、国内株式市場における新規株式公開数は激減し、非常に厳しい経営環境となっております。この様な環境の中、インキュベーションの成果として、保有株式の一部売却を行い利益確保に努めましたが、一方で、保有する時価の無い営業投資有価証券について保守的な評価を行い、158百万円の評価損を売上原価に計上致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は128百万円、営業損失は183百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べて1,133百万円増加し、30,988百万円となりました。この主な要因は、イーコンテクトカンパニーの決済事業、並びに連結子会社㈱カカコムフィナンシャルの外国為替証拠金取引事業に係る金銭の信託が1,205百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べて82百万円減少し、10,120百万円となりました。この主な要因は、連結子会社㈱イーコンテクストとの合併等により、のれんが201百万円増加した一方で、投資有価証券が評価損の計上等により421百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べて2,913百万円増加し、30,549百万円となりました。この主な要因は、法人税の支払等により未払法人税等が310百万円、1年内返済予定の長期借入金300百万円減少した一方で、短期借入金が1,425百万円、外国為替証拠金取引事業等に係る預り金が2,588百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べて1,266百万円減少し、1,438百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が返済等により1,230百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べて595百万円減少し、9,121百万円となりました。この主な要因は、連結子会社㈱イーコンテクストとの合併等により資本剰余金が2,079百万円増加した一方で、当該合併等に伴い少数株主持分が1,207百万円減少したこと、並びに四半期純損失の計上により利益剰余金が1,255百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11,031百万円と前連結会計年度末と比べ79百万円(0.7%)の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は734百万円となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額1,185百万円、預り金の増加額677百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,074百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は468百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払い戻しによる収入60百万円等であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出102百万円、無形固定資産の取得による支出216百万円、貸付による支出(純額)232百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は178百万円となりました。

収入の主な内訳は、短期借入による収入(純額)1,425百万円等であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出(純額)1,530百万円、連結子会社であった㈱イーコンテクストにおける当該会社の自己株式の取得による支出106百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成21年2月5日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

連結子会社であった㈱イーコンテクスト、㈱ディージー・アンド・アイベックス、及び㈱DGソリューションズは、平成20年10月27日をもって当社と合併したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,016,800 | 9,898,492 |
| 金銭の信託 | 5,637,009 | 4,431,418 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,163,677 | 9,379,461 |
| 営業投資有価証券 | 1,507,805 | 1,730,527 |
| 投資損失引当金 | △579,941 | △491,441 |
| 仕掛品 | 366,627 | 147,029 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,889 | 6,018 |
| 繰延税金資産 | 113,788 | 200,378 |
| 未収入金 | 4,139,308 | 3,591,293 |
| その他 | 1,754,712 | 1,017,198 |
| 貸倒引当金 | △135,842 | △55,373 |
| 流動資産合計 | 30,988,836 | 29,855,003 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 425,433 | 408,865 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 943,333 | 936,407 |
| のれん | 6,157,932 | 5,956,003 |
| その他 | 16,820 | 17,977 |
| 無形固定資産合計 | 7,118,087 | 6,910,388 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 771,368 | 1,192,646 |
| 長期貸付金 | 19,468 | 5,791 |
| 繰延税金資産 | 2,656 | 5,159 |
| その他 | 1,813,741 | 1,703,086 |
| 貸倒引当金 | △30,541 | △23,443 |
| 投資その他の資産合計 | 2,576,692 | 2,883,241 |
| 固定資産合計 | 10,120,213 | 10,202,495 |
| 資産合計 | 41,109,049 | 40,057,499 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,133,311 | 7,249,152 |
| 短期借入金 | 7,225,231 | 5,800,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,110,000 | 2,410,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 360,000 | 376,000 |
| 未払法人税等 | 735,002 | 1,045,775 |
| 賞与引当金 | 284,798 | 265,086 |
| その他の引当金 | 9,498 | 139,615 |
| 預り金 | 11,731,814 | 9,143,489 |
| その他 | 959,875 | 1,206,627 |
| 流動負債合計 | 30,549,531 | 27,635,747 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 420,000 | 440,000 |
| 長期借入金 | 400,000 | 1,630,000 |
| 繰延税金負債 | 60,920 | 69,739 |
| 退職給付引当金 | 498,099 | 504,939 |
| その他 | 59,010 | 60,217 |
| 固定負債合計 | 1,438,030 | 2,704,897 |
| 負債合計 | 31,987,562 | 30,340,644 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,835,604 | 1,831,833 |
| 資本剰余金 | 6,253,848 | 4,174,790 |
| 利益剰余金 | △2,193,667 | △937,772 |
| 自己株式 | △69,840 | △1,921 |
| 株主資本合計 | 5,825,944 | 5,066,929 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △423,064 | △275,894 |
| 評価・換算差額等合計 | △423,064 | △275,894 |
| 新株予約権 | 4,071 | 4,071 |
| 少数株主持分 | 3,714,535 | 4,921,748 |
| 純資産合計 | 9,121,487 | 9,716,854 |
| 負債純資産合計 | 41,109,049 | 40,057,499 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 18,051,589 |
| 売上原価 | 11,785,926 |
| 売上総利益 | 6,265,663 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,574,451 |
| 営業利益 | 691,211 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 35,168 |
| 受取配当金 | 4,336 |
| その他 | 20,849 |
| 営業外収益合計 | 60,354 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 119,220 |
| その他 | 68,743 |
| 営業外費用合計 | 187,963 |
| 経常利益 | 563,602 |
| 特別利益 | |
| 持分変動利益 | 74,316 |
| その他 | 150 |
| 特別利益合計 | 74,466 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 19,872 |
| 投資有価証券評価損 | 389,385 |
| 持分変動損失 | 11,528 |
| その他 | 69,569 |
| 特別損失合計 | 490,356 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 147,712 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 763,773 |
| 法人税等調整額 | 75,496 |
| 法人税等合計 | 839,270 |
| 少数株主利益 | 564,336 |
| 四半期純損失(△) | △1,255,894 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成20年12月31日)

| | |
|---------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 147,712 |
| 減価償却費 | 70,309 |
| ソフトウェア償却費 | 196,250 |
| のれん償却額 | 316,185 |
| 受取利息及び受取配当金 | △40,105 |
| 支払利息 | 119,220 |
| 為替差損益 (△は益) | 26,957 |
| 支払手数料 | 26,834 |
| 持分変動損益 (△は益) | △62,787 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 389,385 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,185,097 |
| 営業投資有価証券の増減額 (△は増加) | 121,634 |
| 投資損失引当金の増減額 (△は減少) | 88,500 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △218,469 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △520,937 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △92,448 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △84,048 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △227,144 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | 677,725 |
| その他 | △271,761 |
| 小計 | 1,848,110 |
| 利息及び配当金の受取額 | 41,968 |
| 利息の支払額 | △129,243 |
| 法人税等の支払額 | △1,074,914 |
| 法人税等の還付額 | 48,677 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 734,600 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の払戻による収入 | 60,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △102,692 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 388 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △216,672 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,538 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △13,350 |
| 貸付けによる支出 | △973,020 |
| 貸付金の回収による収入 | 740,495 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △1,578 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 42,614 |
| その他 | △2,057 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △468,410 |

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成20年12月31日)

| | |
|----------------------|-------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 16,880,306 |
| 短期借入金の返済による支出 | △15,455,074 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,030,000 |
| 社債の償還による支出 | △36,000 |
| 株式の発行による収入 | 7,530 |
| 子会社の自己株式の取得による支出 | △106,944 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 129,795 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △36,539 |
| その他 | △31,577 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △178,503 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,790 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 85,895 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,951,418 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △6,232 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,031,082 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:千円)

| | ソリューション事業 | ポータル/ブログ事業 | インキュベーション事業 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 13,453,825 | 4,468,497 | 128,540 | 18,050,863 | 725 | 18,051,589 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 79,724 | 105,427 | — | 185,152 | (185,152) | — |
| 計 | 13,533,550 | 4,573,925 | 128,540 | 18,236,016 | (184,426) | 18,051,589 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | △33,708 | 1,447,998 | △183,562 | 1,230,727 | (539,515) | 691,211 |

※1 事業区分の方法

事業は、サービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

※2 各区分の主なサービス

(1) ソリューション事業

総合広告代理業、プロモーションを中心とした企画構築から制作・製造管理・運営代行業務等の企業のマーケティング活動支援サービス、グループメディアの指定代理店ビジネス、インターネット及びEコマース等のシステム設計・開発・運用、ソフトウェアの販売、各種クリエイティブ制作等、並びにコンビニエンスストアを中心としたEコマース等の決済・物流業務。

(2) ポータル/ブログ事業

インターネットにおける価格比較サイト「価格.com」、レストランのクチコミサイト「食べログ.com」、インターネット宿泊予約サイト「yoyaQ.com」、旅行のコミュニティポータルサイト「フォートラベル」、及びブログ検索ポータルサイト「テクノラティジャパン」等の企画及び運営、CGMを活用した広告商品開発、並びに第三世代(3G)携帯電話に向けたモバイルコンテンツの提供、外国為替証拠金取引業務、並びに保険代理店業務。

(3) インキュベーション事業

ベンチャー企業への投資・育成を中心とした事業戦略支援型ベンチャー・インキュベーション事業、及び投資事業組合財産の管理運営業務。

(事業区分の変更)

従来、事業区分は「ソリューション事業」、「ポータル/ブログ事業」、「ファイナンス事業」、「インキュベーション事業」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「ファイナンス事業」に含めておりましたEコマース等の決済・物流業務を「ソリューション事業」に、外国為替証拠金取引業務及び保険代理店業務を「ポータル/ブログ事業」に統合し、「ソリューション事業」、「ポータル/ブログ事業」、「インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

この変更は平成20年10月27日を合併期日とする連結子会社(㈱イーコンテキスト等)との企業再編、並びに一部連結子会社の異動等を契機として、今後のグループ全体の事業戦略等を踏まえた見直しを行った結果、顧客種類別区分を基礎とし、主として事業者向けビジネスを展開する「ソリューション事業」、同じく個人向けビジネスを展開する「ポータル/ブログ事業」、投資・育成事業を展開する「インキュベーション事業」の3区分とすることにより、事業の実態を反映した、より適切なセグメント情報を開示するために行ったものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、従来の事業区分によった場合の事業の種類別セグメント情報は、次のとおりであります。

(単位：千円)

| | ソリューション事業 | ポータル/ブログ事業 | ファイナンス事業 | インキュベーション事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 11,957,224 | 4,167,536 | 1,797,561 | 128,540 | 18,050,863 | 725 | 18,051,589 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 185,564 | 105,427 | 1,929 | — | 292,921 | (292,921) | — |
| 計 | 12,142,788 | 4,272,964 | 1,799,491 | 128,540 | 18,343,785 | (292,195) | 18,051,589 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △274,233 | 1,391,583 | 290,455 | △183,562 | 1,224,243 | (533,032) | 691,211 |

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年10月27日付で、従来連結子会社であった(㈱イーコンテキスト、(㈱DGソリューションズ、(㈱ディージー・アンド・アイベックス、(㈱クリエイティブガレージ及び(㈱DGメディアマーケティングを吸収合併致しました。その結果、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金が2,075,286千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が6,253,848千円となっております。

また、当該合併により発生した一に満たない端数の処理に伴う自己株式の買取により、当第2四半期連結会計期間において自己株式が67,919千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が69,840千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

| 区分 | 前中間連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年12月31日) | | |
|----------------|---|------------|-------|
| | 金額 (千円) | 百分比 (%) | |
| I 売上高 | | 19,093,343 | 100.0 |
| II 売上原価 | | 13,617,209 | 71.3 |
| 売上総利益 | | 5,476,133 | 28.7 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 5,657,330 | 29.6 |
| 営業損失(△) | | △181,196 | △0.9 |
| IV 営業外収益 | | | |
| 1. 受取利息 | 15,369 | | |
| 2. 受取配当金 | 3,607 | | |
| 3. その他 | 25,269 | 44,246 | 0.2 |
| V 営業外費用 | | | |
| 1. 支払利息 | 104,187 | | |
| 2. 株式交付費 | 5,004 | | |
| 3. 支払手数料 | 26,420 | | |
| 4. その他 | 14,704 | 150,316 | 0.8 |
| 経常損失(△) | | △287,267 | △1.5 |
| VI 特別利益 | | | |
| 1. 持分変動利益 | 424 | | |
| 2. 関係会社株式売却益 | 399,140 | | |
| 3. 貸倒引当金戻入益 | 45,330 | | |
| 4. その他 | 18,279 | 463,175 | 2.4 |
| VII 特別損失 | | | |
| 1. 固定資産除却損 | 19 | | |
| 2. 持分変動損失 | 181 | | |
| 3. 投資有価証券評価損 | 68,774 | | |
| 4. その他 | 157 | 69,132 | 0.3 |
| 税金等調整前中間純利益 | | 106,776 | 0.6 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 688,208 | | |
| 法人税等調整額 | △12,308 | 675,900 | 3.5 |
| 少数株主利益 | | 315,276 | 1.7 |
| 中間純損失(△) | | △884,400 | △4.6 |

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前中間連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年12月31日) |
|-------------------------|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 税金等調整前中間純利益 | 106,776 |
| 2 減価償却費 | 60,308 |
| 3 ソフトウェア償却費 | 169,073 |
| 4 のれん償却額 | 321,436 |
| 5 受取利息及び受取配当金 | △18,977 |
| 6 支払利息 | 104,187 |
| 7 為替差損又は(△)差益 | 4,201 |
| 8 営業外支払手数料 | 26,420 |
| 9 株式交付費 | 5,004 |
| 10 持分変動損失又は(△)利益 | △243 |
| 11 関係会社株式売却益 | △399,140 |
| 12 投資有価証券評価損 | 68,774 |
| 13 売上債権の(△)増加額又は減少額 | 1,311,425 |
| 14 営業投資有価証券の(△)増加額又は減少額 | 275,090 |
| 15 営業保証金の(△)増加額又は減少額 | 80,000 |
| 16 たな卸資産の(△)増加額又は減少額 | △325,441 |
| 17 未収入金の(△)増加額又は減少額 | △1,685,615 |
| 18 仕入債務の増加額又は(△)減少額 | △2,374,308 |
| 19 未払金の増加額又は(△)減少額 | △162,038 |
| 20 未払消費税等の増加額又は(△)減少額 | △41,567 |
| 21 預り金の増加額又は(△)減少額 | 497,220 |
| 22 その他 | 97,702 |
| 小計 | △1,879,710 |
| 23 利息の支払額 | △99,420 |
| 24 法人税等の支払額 | △879,526 |
| 25 法人税等の還付額 | 151,390 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,707,266 |

| | 前中間連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年12月31日) |
|--------------------------|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 定期預金の預入による支出 | △60,000 |
| 2 定期預金の払戻による収入 | 2,033 |
| 3 別段預金の預入による支出 | △3,609 |
| 4 別段預金の払戻による収入 | 1,637 |
| 5 有形固定資産の取得による支出 | △112,024 |
| 6 有形固定資産の売却による収入 | 2,329 |
| 7 無形固定資産の取得による支出 | △276,233 |
| 8 投資有価証券の取得による支出 | △34,285 |
| 9 関係会社株式の取得による支出 | △73,500 |
| 10 関係会社株式の売却による収入 | 610,896 |
| 11 匿名組合への出資の払戻による収入 | 30 |
| 12 貸付による支出 | △369,719 |
| 13 貸付金の回収による収入 | 301,067 |
| 14 敷金・保証金の差入による支出 | △29,591 |
| 15 敷金・保証金の返還による収入 | 230,158 |
| 16 その他 | 20,399 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 209,586 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 短期借入れによる収入 | 5,467,912 |
| 2 短期借入金の返済による支出 | △5,458,326 |
| 3 長期借入れによる収入 | 1,500,000 |
| 4 長期借入金の返済による支出 | △187,820 |
| 5 社債の償還による支出 | △192,000 |
| 6 株式の発行による収入 | 37,049 |
| 7 子会社による当該会社の自己株式取得による支出 | △299,876 |
| 8 手数料の支払額 | △60,231 |
| 9 少数株主からの払込による収入 | 43,075 |
| 10 少数株主への配当金の支払額 | △36,644 |
| 11 その他 | △4,263 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 808,875 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,614 |
| V 現金及び現金同等物の増加額又は(△)減少額 | △1,686,190 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,509,880 |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 9,823,690 |